

平成20年度

施設評価調書

施設の名称.....市営 多々戸
温水シャワー施設

所管担当課.....観 光 交 流 課

平成20年7月

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市営多々戸温水シャワー施設	番号	12
--------	----------	-----------------	----	----

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市営多々戸温水シャワー施設		2 担当課 担当係	観光交流課 観光戦略係	
3 所在地	下田市吉佐美58番地の7		4 設置年月	昭和61年10月20日	
5 総合計画の 位置付け	勢いと活力づくり		訪れたいまちづくり		観光
	施策体系		観光環境の整備		観光関連施設の整備
	主要事業		観光施設整備事業		観光施設の整備
6 設置目的	市民の海浜利便の向上及び観光の振興を図る				
7 設置根拠	下田市営多々戸温水シャワー施設の設置及び管理に関する条例				
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 66㎡			
		木造平家建 (一部鉄筋コンクリート造) シャワー室6室 コインタイマー式(無人施設)			
	実施事業 の概要	多々戸海岸の海水浴に隣接した温水シャワー施設を観光客及び地元住民が施設利用することに伴い施設衛生管理及び清掃をする。			
	料金体系	料金区分	1回 5分以内 200円		
		主な料金	多々戸温水シャワー使用料		
		減免内容	条例 第5条 市長は、公益上必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。 規則 第4条 温水シャワーの使用料を減免することができる範囲は、次のとおりとする。 (1) 下田市が主催する行事をするとき。 (2) 公共団体又は公共的団体が使用するとき。 (3) その他市長が特別の理由があると認めるとき。		
	利用料金制度		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
	施設運営 方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営			
		指定管理者制度	指定管理者		
	直接従事職員	一部委託	委託内容		
下田市職員数		臨時業務員1人			
9 市内の 類似施設	下田市所有		白浜大浜公衆トイレ		
	民間所有				

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市営多々戸温水シャワー施設	番号	12
--------	----------	-----------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成19年度末残高			(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価格1円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数 12年
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費	15,680,000円	建物減価償却後残高		1円	
	財源内訳		耐用年数12年(s61.10~h10.9) 木造(公衆浴用)で期間算定			
	県支出金	3,900,000円	市債残高		0円	
	市債	0円				
	一般財源	11,780,000円				
寄附金等	0円					
物品(*万円以上)			物品減価償却後残高			
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度予算
	収入	温水シャワー使用料	3,691,700	3,446,200	3,732,100	3,459,000
	収入合計		3,691,700	3,446,200	3,732,100	3,459,000
	支出	07節 賃金	1,216,800	1,148,700	1,148,700	1,158,000
		11節 需用費	874,145	656,419	527,350	800,000
		12節 役員費	30,378	30,378	30,378	31,000
		22節 補償補填費	1,000	1,000	1,000	1,000
	支出合計		2,121,323	1,835,497	1,707,428	1,990,000
	減価償却費		-	-	-	-
	市債利子		-	-	-	-
	下田市負担年間総経費		1,570,377	1,610,703	2,024,672	1,469,000
備考	人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額)					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H17年度決算	H18年度決算	H19年度決算	H20年度予算
		利用者数	18,383人	17,154人	18,682人	18,700人
		参考:利用単位当たり市負担額	115.29円	107.00円	91.39円	106.41円
		算出方法:11欄の「支出合計額」÷利用者数				
	開場期間	年中無休				
使用時間	午前8時から午後5時まで					
13 利用者満足度調査	実施の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		調査結果		
	直近の実施時期					
	調査手法					
	調査数					

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市営多々戸温水シャワー施設	番号	12
--------	----------	-----------------	----	----

業績評価

1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	利用者数の目標値	人	17,500	18,400	18,400	18,700
	" の実績	人	18,383	17,154	18,682	
	目標達成度	%	100.9	93.2	101.5	
選択した指標	成果指標					
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由					
	端的に表わす成果指標が無い為代替指標を用いる					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標	市民の海浜利便の向上				
		観光の振興				
	代替指標	施設利用者数				

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標			区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
活動指標	目標指標	4月～6月シャワー利用者	目標値	人	3,165	3,200	3,200	3,300
			実績値	人	3,209	3,196	3,025	
			達成度	%	101.3	99.8	94.5	
	目標指標の考え方	17年度 26人*30日 + 45人*31日 + 33人*30日 = 3,165人 18～19年度は17年度実績値に基づいて設定。 20年度は19年度実績値に基づいて設定。						
活動指標	目標指標	7月～8月シャワー利用者	目標値	人	8,773	8,800	8,800	8,900
			実績値	人	8,788	8,395	8,541	
			達成度	%	100.1	95.3	97.0	
	目標指標の考え方	17年度 90人*31日 + 193人*31日 = 8,773人 18～19年度は17年度実績値に基づいて設定。 20年度は19年度実績値に基づいて設定。						
活動指標	目標指導	9月～3月シャワー利用者	目標値	人	5,562	6,400	6,400	6,500
			実績値	人	6,386	5,563	7,116	
			達成度	%	114.8	86.9	111.1	
	目標指標の考え方	17年度 50人*30 + 22人*31 + 17人*30 + 17人*31 + 29人*31 + 25人*28 + 24人*31 = 5,562人 18～19年度は17年度実績値に基づいて設定。 20年度は19年度実績値に基づいて設定。						

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市営多々戸温水シャワー施設	番号	12
--------	----------	-----------------	----	----

2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
	施設の総利用者数等		人	18,383人	17,154人	18,682人	18,700人
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	2,121,323	1,835,497	1,707,428	1,990,000
	利用単位当たり経費	÷	円/人	115.50 円/人	107.00 円/人	91.39 円/人	106.41 円/人
総利用者数等の考え方 施設の総利用者数等について用いた指標について記載してください。	温水シャワーのコイン料金の5分以内一回200円を一人分として考える為、シャワーメーター使用番号を差し引きし回数をだしそれに100円を掛けた金額を200円で割った分が利用人数		備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。				

その他の指標			区分	単位	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
目標指数	目標指数	光熱水費	目標値	円	170,000	170,000	220,000	192,000
			実績値	円	186,189	170,297	179,899	
			達成度	%	91.3	99.82	122.29	
目標指数の考え方	電気 水道の料金を節約することで効率性を計る							
目標指数	目標指数	賃金	目標値	千円	1,275	1,158	1,158	1,158
			実績値	千円	1,216	1,148	1,148	
			達成度	%	104.67	100.87	100.87	
目標指数の考え方	臨時職員の賃金を抑えることにより効率性を計る							
目標指数	目標指数	燃料費	目標値	円	190,000	170,000	170,000	188,000
			実績値	円	149,880	187,130	222,010	
			達成度	%	126.76	90.84	76.57	
目標指数の考え方	灯油の使用を節約することで効率性を計る							

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H17年度	H18年度	H19年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円	2,121,323	1,835,497	1,707,428
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円	3,691,700	3,446,200	3,732,100
	受益者負担比率	÷	%	174.0%	187.7%	218.58%
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円	-	-	-
	補正受益者負担比率	÷	%	-	-	-

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市営多々戸温水シャワー施設	番号	12
--------	----------	-----------------	----	----

施設の現状分析

判断視点		項目	施設の状況
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	基本的には、適正な利用はされている。
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	住民、海水浴客の利便性に寄与している。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	将来に渡り、必要不可欠な施設と考えている。
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどうなっているのか	予算の問題もあり、全体的な修繕計画はない。小規模なものは個別に対応。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	管理人を雇用しており、毎日の利用日誌を付けている。
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	特に競合はしていない。
		民間においても十分可能な施設なのか	民間でも可能であると思うが、維持管理などと考えると収益が出るとは考えにくい。
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	現在の利用の中で、特に問題は出ていない。
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか	適正と考えている。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうなっているのか	計画利用者数は出していないが、年々減少傾向にある。
		施設の耐用年数は何年有るのか	明確な年数は不明。
		施設の今後の維持経費の算定はどうか	現状、小規模修繕で対応しているが、ボイラー等の機械類は修繕の必要あり。
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	小規模な修繕予算で対応しており、支出としては妥当。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	施設の抜本的改修を考えたいが、現状で行くしかないと考えている。
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	海岸のある地域だけの施設であるので、特に見直しの必要はないと考えている。
	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	特になし。
		老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	老朽化はしているが、財政上改築は当面考えられない。
		地域、民間に譲渡できないのか	管理の難しさ、施設の維持から考えて譲渡は難しい
	施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	各海岸になければ意味がなく、統合は不可能。	
その他			

平成20年度

施設名(愛称名) 下田市営多々戸温水シャワー施設

番号 12

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	妥当であると考えている。
	受益者負担の妥当性	同上。
	実施主体の妥当性	同上。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	現状の運営を継続していく。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	施設、機器類の修繕できれば利用者数の向上に結びついていく可能性あり。
	執行方法の見直しなど効率化のための目標及び方策	妥当であると考えている。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	同上。
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	無し。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	管理人の現場での対応に任せている現状である。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	管理人の対応によって対応したい。

平成19年度事業内容及び見直し事項

事業内容	機械類の故障が多発した為、今後ある程度の予算が必要になってくる可能性がある。
見直し事項	管理委託制度の条例を改正する。平成17年9月議会 平成18年度から直営管理

平成20年度	施設名(愛称名)	下田市営多々戸温水シャワー施設	番号	12
--------	----------	-----------------	----	----

施設懸案事項

No.	懸案事項	改修経費	備考
1	支柱(木製)の老朽化	調査中	
2	シャワー室ドア蝶番の塩害による腐食	単価 8,400 円	B、D 室は 19 年度に修繕済
3	施設屋根の採光用ガラスの破損	調査中	
4	施設周辺コンクリート舗装部分の老朽化	調査中	
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

今後の方向性

今後の方向性	<p>充実</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 効率化等による見直し</p> <p>現状のまま継続等</p> <p>縮小等による見直し</p> <p>統廃合を進める</p>	<p>(具体的な内容)</p> <p>施設設置による公益性と利便性が高まっており、今後も存続していく為の改修が必要であると考えている。</p>
--------	---	---